

交通バリアフリー推進ネットワークメールマガジン登録団体 各位

交通バリアフリー推進ネットワークメールマガジンをお送りしますので、ご覧ください。

なお、配信方法をE-mailに転換していきたいと思っておりますので、ecomomail@ecomomail.jpまでお知らせ頂ければと思います。

また、配信の停止等に関しましては、ecomomail@ecomomail.jpもしくは、FAX(03-3221-6674)までお知らせ頂ければと思います。

交通バリアフリー推進ネットワークメールマガジン VOL59

2007年10月19日



バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

交通バリアフリー推進の集い冊子配布について

ネットワーク参加団体からのお知らせ

「市民と進める福祉の交通まちづくりセミナー in 中四国」

～観光、景観の視点を加えて交通バリアフリーの新たな展開を考える～

全国車いす宿泊ガイド(社団法人全国脊髄損傷者連合会)

エコモからのお知らせ

「公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン」, 「公共交通機関の車両等に関する移動等円

滑化整備ガイドライン」, 「旅客船バリアフリーガイドライン」の発行について

高齢者・障害者等の公共交通機関不便さデータベース

らくらくおでかけネット

小中学生の総合学習、修学旅行等の受け入れのご案内

バリアフリー学習図鑑「みんなで考えるバリアフリー」(CD-ROM)の公開

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

行政からのお知らせ

交通バリアフリー法移動円滑化基本構想策定状況(国土交通省)

ニュース

各種催し物のお知らせ

コラム

バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

交通バリアフリー推進の集い冊子配布について

交通バリアフリー推進の集いの当日配付資料(第2回、第3回、第5回)をご希望の方にお送ります。ご連絡ください。

FAX:03-3221-6674 E-mail:ecomomail@ecomomail.jp

ネットワーク参加団体からのお知らせ

「市民と進める福祉の交通まちづくりセミナー in 中四国」

～観光、景観の視点を加えて交通バリアフリーの新たな展開を考える～

本セミナーでは、中四国を代表する観光地である倉敷市において、「観光」、「景観」の視点を加えた交通バリアフリーの考え方を学ぶとともに、全国で実施されてきた交通バリアフリー整備の先進事例を紹介し、交通バリアフリーの新たな展開の方向性を探っていきたくと考えています。

日時:2007年10月31日(水) 13:00～17:00

場所:倉敷市芸文館大ホール(約400名)

プログラム:

13:00 - 13:10 開会挨拶:倉敷市長

13:10 - 14:40 (90分) 第1部 交通バリアフリーの新たな展開

13:10 - 13:40 基調講演:観光と交通バリアフリー 首都大学東京 教授 秋山 哲男

13:40 - 14:00 講演1:倉敷市における交通バリアフリーの取り組み 倉敷市

14:00 - 14:20 講演2:バリアフリー新法の要点 国土交通省

14:20 - 14:40 講演3:景観地区における交通バリアフリー 大阪大学 教授 新田 保次

14:40 - 15:00 休憩

15:00 - 16:30 (100分) 第2部 グッド・プラクティス(先進的取り組み事例)の紹介と景観地区における展開

コーディネーター:新田保次(前掲)

パネラー：・美観地区における課題 倉敷市

以下、社)土木学会 福祉の交通・地域計画研究小委員会委員

・鉄道駅における取り組み 九後 順子(株式会社アーバンエース)

・道路における取り組み 石塚 裕子(八千代エンジニアリング株式会社)

・情報・サインと案内の工夫 高橋 富美(株式会社建設技術研究所)

16:50 ~ 閉会挨拶:国土交通省

17:00 閉会

お問い合わせ先:お申し込み:参加代表のお名前・人数、所属、住所、TEL・FAX、E-mail、車いす使用の有無等を明記して頂き、下記のメールかFAXでご連絡下さい。

倉敷市 建設局都市計画部 交通政策課 濱田・秋山

〒710 - 8565 倉敷市西中新田640 FAX(086)421 - 1600 E-mail:traffic-pol@city.kurashiki.okayama.jp

全国車いす宿泊ガイド

社団法人全国脊髄損傷者連合会では、本年6月から車いすを利用する障害者と高齢者のための施設情報を掲載している「全国車いす宿泊ガイド」の運用を開始しました。詳細は <http://www.raqoo.jp/sij/>

エコモからのお知らせ

「公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン」、「公共交通機関の車両等に関する移動等円滑化整備ガイドライン」、「旅客船バリアフリーガイドライン」の発行について

平成18年12月にバリアフリー新法(高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律)が施行されたことを受け、公共交通機関の旅客施設・車両等の望ましい整備内容等を示すガイドライン及び旅客船に関するガイドラインが策定されました。なお、旅客船バリアフリーガイドラインは販売を開始しましたが、旅客施設及び車両等のガイドラインについては、現在予約受付中です。

詳細はこちらから http://www.ecomo.or.jp/barier_free/h18guideline/guideline/guideline_index.htm

http://www.ecomo.or.jp/barier_free/h18guideline/guideline/guideline_fune_index.htm

高齢者・障害者等の公共交通機関不便さデータベース

平成5年10月から平成18年3月までに各関係機関で実施された、障害者や高齢者等の駅、公共交通機関の利用状況についてまとめた調査報告書の内容を整理し、駅や交通機関(鉄道・バス)の利用者が実際に感じている不便さや利便さ等の意見を抽出し、データベース化したしました。

詳細はこちらから http://www.ecomo.or.jp/barier_free/fubensa/index.html

らくらくおでかけネット

現在は、鉄道駅4,072駅、空港85、バス158、旅客船411ターミナルの情報を提供しています。最近の1日のアクセス件数は、約3,000件です。リンクご希望の方はご連絡ください。なお、アドレスは下記の通りです。

アドレス:(パソコン版)<http://www.ecomo-rakuraku.jp/>

(携帯版)<http://www.ecomo-rakuraku.jp/rakuraku/mobile/>

小中学生の総合学習、修学旅行等の受け入れのご案内

毎年、総合学習や修学旅行等でバリアフリー等について学びにこられる学校の関係者の方へのご案内ページを新たに作成しました。講習の他に、車いす体験や高齢者疑似体験等、ご希望に沿った内容で実施しています。

詳細は http://www.ecomo.or.jp/barier_free/gakusei/gakuseiukeire_index.htm

バリアフリー学習図鑑「みんなで考えるバリアフリー」(CD-ROM)の公開

子供達がバリアフリーや福祉に関する学習を進める上で、障害のある人達の日常の不便さ等を知り、ハード面のバリアフリー、ソフト面での(心の)バリアフリーを理解し、バリアフリー社会の実現を自分のこととして捉えるため親しみやすいCD-ROMを作成しました。ホームページにて公開しています。是非ご利用ください。 http://www.ecomo.or.jp/index_img/kaisetsu.htm

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価に関する簡易評価マニュアルを公開していますが、こちらは、あくまでも地域の市

民や学生の皆様などが自主的に評価に取り組まれる時のために提供しています。実際に駅を評価される場合は、皆様の自主的な活動として、鉄道事業者の方にご連絡してください。なお、本マニュアルを利用して、駅等の評価を行われましたら、是非とも当財団まで結果をお送りくださいますようお願い致します。

行政からのお知らせ

交通バリアフリー法、バリアフリー新法移動円滑化基本構想策定状況（平成19年5月まで）
基本構想を作成済みの市区町村 225 市町村(273 基本構想)
詳細は <http://www.mlit.go.jp/barrierfree/transport-bf/basicplan/jyunijyoukyou1709.pdf>

ニュース

9月1日えちぜん鉄道に新駅開業

日華科学前駅、八ツ島駅が開業しました。詳細は http://www.echizen-tetudo.co.jp/02-info/02-new_eki/02-new_eki.html

9月22日東京メトロにバリアフリー設備

東陽町駅西口改札にエレベーターが設置されました。詳細は <http://www.tokyometro.jp/rosen/eki/toyocho/index.html>

9月25日から名古屋市交通局でばすちか‘お助け’ボランティア募集中

名古屋市交通局では、地下鉄の駅や市バスターミナルにおけるボランティアを募集しています。

詳細は <http://www.kotsu.city.nagoya.jp/info/2007/002273.html>

9月28日東京メトロにバリアフリー設備

上野駅、銀座線ホームにエレベーターが設置されました。詳細は <http://www.tokyometro.jp/rosen/eki/ueno/index.html>

9月30日東京メトロにバリアフリー設備

霞ヶ関駅、国会議事堂前駅のホームドアの使用が開始されました。

詳細は <http://www.tokyometro.jp/anshin/anzen/homedoor/index.html>

10月1日に千葉モノレールの制服一新

千葉モノレールの運転士・駅員の制服が一新しました。詳細は <http://www.chiba-monorail.co.jp/uniform.html>

10月1日からSTACIAポイントキャンペーン開始

阪急阪神グループをご利用されるとポイントがたまります。詳細は http://rail.hankyu.co.jp/hana_cam/index.html

10月5日から大阪市交通局にバリアフリー施設

四つ橋線花園町駅にエレベーターが設置されました。詳細は <http://www.kotsu.city.osaka.jp/news/news/h19/ekisisetujujitu.html>

10月5日までに大阪モノレールにAED設置

大阪モノレールでは全駅にAEDが設置されました。

詳細は <http://www.osaka-monorail.co.jp/jpn/company/press/detail/pdf/press200710AED.pdf>

10月12日から熊本市電が運賃均一化

市電全線において、全て150円となりました。

詳細は http://www.kotsu-kumamoto.jp/Content/asp/topics/topics_detail.asp?PageID=2&ID=109&type=1

10月15日から小田急電鉄で遅延証明書をホームページで発行

小田急電鉄のホームページに遅延証明書が発行されました。

詳細は http://www.odakyu.jp/program/info/data.info/3073_1842648_.pdf

11月11日でDMV試験運行終了

JR北海道で試験運行されているデュアル・モード・ビークルの試験運行が終了します。

詳細は <http://www.jrhokkaido.co.jp/press/2007/070817-1.pdf>

9月までに横浜市営地下鉄全駅に可動式ホーム柵が設置

市営地下鉄全駅に可動式ホーム柵が設置されます。

詳細は <http://www.city.yokohama.jp/me/koutuu/info/news/2007/20070412.html>

12月1日から東急でキッズセキュリティサービス開始

東京急行電鉄では、PASMOと連携したキッズセキュリティサービスを開始します。

詳細は http://www.tokyu.co.jp/contents_index/guide/pdf/070808.pdf

12月中旬頃からJR東日本でホーム駅名標等整備

JR東日本仙台支社では、仙台・宮城ですディネーションキャンペーン(DC)に向けて、DCエリア内にある132駅のホーム柱用駅名標と観光地の入り口等になっている29駅のホーム駅名標が整備されることとなりました。なお、2007年度のホーム柱用

駅名標設置予定駅は、仙台線沿線 15 駅、ホーム駅名標は仙山線愛子駅、作並駅、奥新川駅、面白山高原駅、山寺駅の 5 駅となっています。

12 月末ごろから、JR 東日本に新型車両導入

京浜東北線では、優先席エリアの色分け、ホームとの段差の縮小、液晶画面の拡大など、バリアフリーに配慮した新型車両導入が導入されます。

2008 年 1 月京都市営地下鉄に新駅開業予定

地下鉄東西線に西大路御池、太秦天神川が開業します。詳細は <http://www.city.kyoto.jp/kotsu/news/2007/2007042.htm>

2008 年 3 月、京王線キッズプラッツ多摩川が開設

子育て支援事業の取り組みの具体的な事業のひとつとして、京王多摩川駅近くに保育所が開設されます。

詳細は <http://www.keio.co.jp/news/nr070927v02/index.html>

2008 年 3 月 30 日都営日暮里・舎人ライナー開通予定

東京都交通局では日暮里・舎人ライナー(日暮里駅～見代台親水公園駅)が開通されることになりました。

詳細は http://www.kotsu.metro.tokyo.jp/newsevent/news/others/2007/otr_p_200710011_h.html

2008 年春、JR 西日本に新線開業

来春、大阪外環状線に新たに「おおさか東線」が開業し、新駅 5 駅(高井田中央、JR 河内永和、JR 俊徳道、JR 長瀬新加美)と決定しました。詳細は http://www.westjr.co.jp/news/newslist/article/1173226_799.html

2009 年から千葉都市モノレールに新型車両導入予定

詳細は <http://www.chiba-monorail.co.jp/uf-otype/urban-flyer.html>

各種催し物のお知らせ

第 30 回総合リハビリテーション研究大会 <http://www.normanet.ne.jp/~rehab/>

日時:10 月 19 日～20 日 / 場所:日本青年館 国際ホール

人・環境にやさしいまちづくり～公共交通とまちづくりの連帯 <http://www.sangyo-koryu2007.jp>

日時:10 月 20 日 / 場所:尼崎アルカニックホール・オクト

13:40・基調講演・新田保次・大阪大学院教授「人にも環境にもやさしいまちづくり～交通サイドからのアプローチ」

14:20・尼崎市内地域団体の取り組み紹介

14:50・パネルディスカッション パネリスト:桂小米朝、白井文尼崎市長、阪神電鉄社長、阪急電鉄社長

主催:尼崎市と阪急阪神の共催 / 民鉄協会のプロジェクト事業の一つとして開催

参加料:無料、申し込み不要

定員:600 人

シンポジウム「中部国際空港のユニバーサルデザインを考える」

日時:10 月 21 日 13:00～17:00(予定) / 場所:中部国際空港 セントレアホール

お申し込み、お問い合わせ:シンポジウム実行委員会事務局 名古屋大学谷口研究室内(担当:平松)

メール <mailto:UDsympo2007@gmail.com> / 電話(052)789-3742 / FAX(052)789-2405

ご所属、お名前、御連絡先(メールアドレス)、お電話、ならびに見学ツアーへの参加希望の有無、をお知らせ下さい。

要約筆記、その他サポートが必要な方は、申し込み時にその内容をお知らせ下さい。磁気ループ(10 人分程度)の準備もできます。

プログラム:

第一部:中部空港の UD (1 時間)

セントレアに UD が導入された経過、そして実際の計画・施工の過程、そして使用後の利用者の評価など。

講演者(予定)

・空港コンセプトとユニバーサルデザイン(赤司博之 / 日建設計)

・ユニバーサルデザインの特徴、UD 研究会の役割(谷口元 / 名古屋大学教授、森崎康宣 / 連空間設計)

第二部:これからの中部空港(1 時間)

これからの中部空港、これからの UD に望むことなどの討論。

パネラー(予定)竹内伝史(岐阜大学教授)、赤司博之(日建設計)、谷口元(名古屋大学教授)、

磯部友彦(中部大学教授)、森崎康宣(連空間設計)

第一部 第二部司会進行:荒尾和史(中部国際空港株式会社)

終了後:セントレアの UD・見学ツアー(30～40 分程度、希望者のみ)

実際に空港内の UD を目で見て体感するイベントを行います(20～30 名程度)

- アイフェスタ 2007 in 神戸 <http://www.jrps.org/hyogo/local/>
 日時:10月21日 / 場所:神戸市立六甲道勤労市民センター5F 大会議室
- 産業交流展 2007 <http://www.sangyo-koryu2007.jp>
 日時:10月25日~26日 / 場所:東京ビックサイト
- アイライトフェア 2007 <http://eyelight.eek.jp/Main/indexpage.htm>
 日時:10月28日 / 場所:神戸市立東部在宅障害者福祉センター2階多目的室
- 関西ホスピタルショウ 2007 <http://www.noma.or.jp/bsosaka/>
 日時:11月1日~11月2日 / 場所:インテックス大阪
- 視覚障害者のための総合イベント「サイトワールド」 <http://www.sight-world.com>
 日時:11月2日~4日 / 場所:すみだ産業会館サンライズホール
- 新潟国際ビジネスメッセ 2007
 日時:11月8~9日 / 場所:新潟市産業振興センター
- 移送送迎支援サービス・セミナー <http://www.e-sora.net/k-sts/>
 日時:11月11日 / 場所:大阪府福祉人権推進センター
- P.P.C.2007 第9回 西日本国際福祉機器展 <http://convention-a.jp/fukushi/>
 日時:11月16~18日 / 場所:西日本総合展示場・新館
- 北海道ホスピタルショウ 2007 http://www.noma.or.jp/show/hs_hokkaido/index.html
 日時:11月16~17日 / 場所:札幌コンベンションセンター
- 都市計画学会第42回学術研究論文発表会 <http://www.soc.nii.ac.jp/cpij/com/ac/ac42.html>
 日時:11月17日~17日 / 場所:工学院大学新宿キャンパス
- IPEC21-2007 7th INTERIOR PRO EX CO ひと・環境・デザイン <http://www.ipec21.jp/>
 日時:11月21~24日 / 場所:東京ビックサイト
- 九州ホスピタルショウ 2007 http://www.noma.or.jp/show/hs_kyushu/index.html
 日時:11月21~22日 / 場所:福岡国際会議場
- 第36回土木計画学研究発表会(秋大会) http://www.jsce.or.jp/committee/ip/ip36/ip36_kaikoku.htm
 日時:11月23~25日 / 場所:八戸工業大学

コラム

「コミュニティバス」

コミュニティバスと言えば、コミュニティバス導入の初期の頃は、地方自治体が、例えば金沢のふらっとバス運行に見られるが、高齢者や障害者の移動の確保を念頭においた STS(スペシャルトランスポートサービス)の考えがあり、また、駅前商店街の中をバスが走るにより商店街の活性化を図るなど、大きな目的のもと運行されていたと思う。しかしながら最近、街中を走っているコミュニティバスを見てみると、多くの健常者が利用し、また車両も床が高く、スロープもついてない。全く路線バスと変わらないものが見受けられる。健常者にとっては、路線バスと違う路線で自宅に近いところを走るから便利だし、運賃も通常の半額程度ですむので都合は良いのであるが、地方自治体が運行するコミュニティバスがこれで良いのか、と考えさせられる。すべての方が便利のように考えることは大変良いのだが、移動の困難な高齢者や障害者の方々の買い物や通院等の移動をどう考えるのか、地方自治体は明確な方針を出すべきではないだろうか。

(なお、ここに記述したコミュニティバスの運行は一部であり、全てのコミュニティバスではない。)

【Information】

記事募集中!! : ecomomail@ecomomail.jp

配信先変更・停止、ご意見・ご感想 : ecomomail@ecomomail.jp

交通バリアフリー推進ネットワークメールマガジンはバリアフリー推進ネットワークの著作物です。転送・転載する際は、必ず事前にご連絡ください。 : ecomomail@ecomomail.jp



バリアフリー推進ネットワーク事務局 (交通エコロジー・モビリティ財団)

E-mail : ecomomail@ecomomail.jp

URL : http://www.ecomomail.jp/itamii_sengen/itamii_index.html
